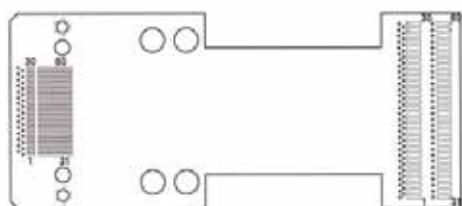


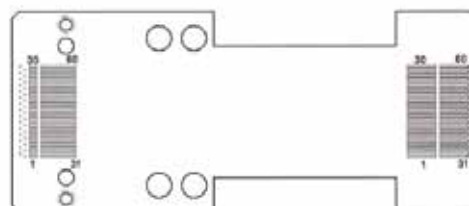
- ディスクリート線の半田付け
  - フレキコネクタの実装によるフレキ配線
  - FRCコネクタ付きの配線
- 以下の手順に従って配線を行ってください。
  - 0.4mmピッチのBtoBコネクタが実装できます。
  - 上記ディスクリート線の半田付けと同様、基盤を外した上で、下記の図を  
ご参照いただき、極数設定によって使用される半田パッドに配線を行ってください。
- <裏当ての場合>
  - (1) ヒンジブロックの左右ネジ2本を外してください。
  - (2) ヒンジブロックを後方に抜きます。
  - (3) フローティングガイドの上からM3ネジ2本を取り外し、フローティングガイドとピンブロック、基板を外してください。
  - (4) 基板を上側に向けて基板を止めているネジ2本を外し、プローブを交換してください。
- 使用するFRCコネクタは、ヒロセ電機社製HIF6-32・40・60PA1.27DS(1.27ピッチ)です。
- 本品への中継用配線ケーブルを用意しました。  
1.27ピッチ中継フラットリボンケーブル(FCHシリーズ)が対象となります。

ディスクリート線、BtoB コネクタ配線タイプの場合

■ CCBB-040- 極数



■ CCBB-040- 極数 -BB

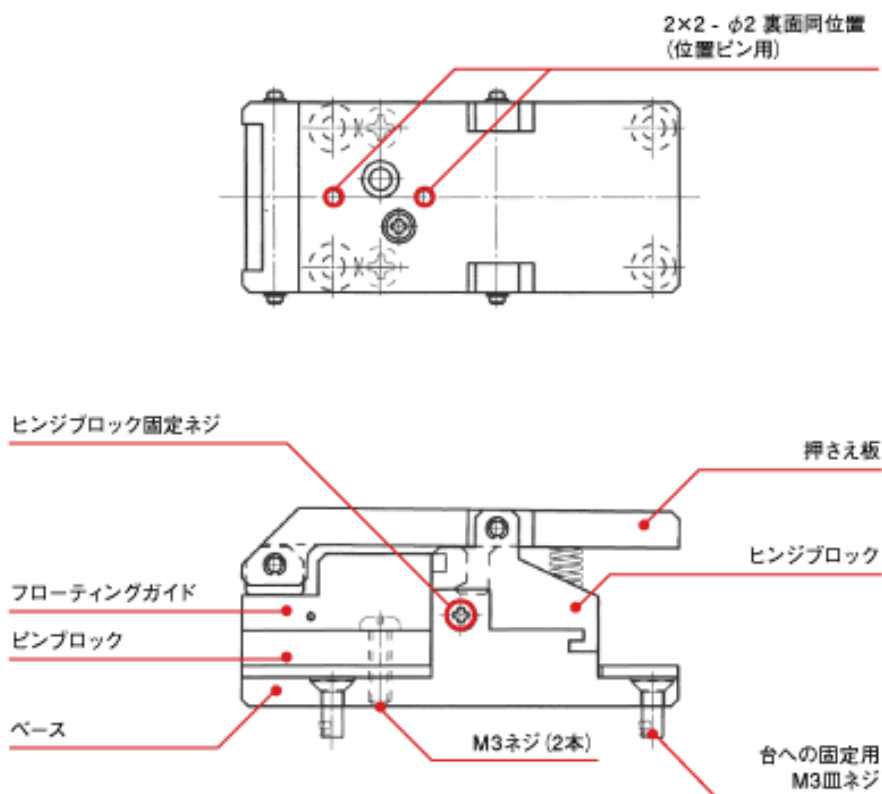


使用する極数	使用しない半田パッドNo.																																				
10極	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	
14	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60			
16	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60				
18	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60						
20	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60							
22	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	22	23	24	25	26	27	28	29	30	52	53	54	55	56	57	58	59	60									
24	1	2	3	4	5	6	7	8	9	22	23	24	25	26	27	28	29	30	52	53	54	55	56	57	58	59	60										
26	1	2	3	4	5	6	7	8	9	23	24	25	26	27	28	29	30	53	54	55	56	57	58	59	60												
28	1	2	3	4	5	6	7	8	23	24	25	26	27	28	29	30	53	54	55	56	57	58	59	60													
30	1	2	3	4	5	6	7	8	24	25	26	27	28	29	30	54	55	56	57	58	59	60															
32	1	2	3	4	5	6	7	24	25	26	27	28	29	30	54	55	56	57	58	59	60																
34	1	2	3	4	5	6	7	25	26	27	28	29	30	55	56	57	58	59	60																		
36	1	2	3	4	5	6	25	26	27	28	29	30	55	56	57	58	59	60																			
38	1	2	3	4	5	6	26	27	28	29	30	56	57	58	59	60																					
40	1	2	3	4	5	26	27	28	29	30	56	57	58	59	60																						
42	1	2	3	4	5	27	28	29	30	57	58	59	60																								
44	1	2	3	4	27	28	29	30	57	58	59	60																									
46	1	2	3	4	28	29	30	58	59	60																											
48	1	2	3	28	29	30	58	59	60																												
50	1	2	3	29	30	59	60																														
52	1	2	29	30	59	60																															
54	1	2	30	60																																	
56	1	30	60																																		
58	1	31																																			
60																																					



## <裏当て版>

ヒンジブロック横のネジ(左右2本)を外し、フローティングガイドを後方に抜いたうえで、ピンブロック上方よりM3ネジ2本を外すことにより、フローティングガイドとピンブロック、基板が同時に外れます。残ったベース部をM3皿ネジにて台に固定し、外した部品を元に戻してください。



## <ご案内>

ベース及び、押さえ板または配線カバーには、位置ピン用の穴が設けてありますので、台への取り付け・取り外しを繰り返す場合には、位置ピンを取り付けてご使用いただくと便利です。